

1 トラック2

2
3 レコード店

4
5 小さいながらマニアックなレコードを取り揃えている。客足はまばらながら、最近
6 ネットでの販売が好調で問題ないらしい。莉良は原チャを店の前に停める。店内には
7 既に先輩がレジの前で頬杖について暇そうにしている。

8
9 カランと上機嫌風に扉を開ける莉良

10 正面・中

11 おっはようございまーす。

12
13 おお地味子とレジの机で肘をつきながらだらだらと迎える先輩

14 定型文を返す莉良

15
16 地味じゃないでーす

17 原石のままなんですう

18 って、先輩は相変わらずだるそうにしていますね？

19
20 キヨロキヨロ辺りを見渡す莉良

21
22 店長さんは？

23
24

25 首を振る先輩。いつものことだと呟く。気を遣う莉良

26
27 ほんと、いつも先輩に任せてふら〜ってどっか行っちゃうんだから

28
29 がらんとした店内を見て

30
31 まっ、老夫婦が営んでる純喫茶かってくらい静かですもんね
32 問題は…ない…のか

33
34 はっと気が付きフォローする

35
36 あっ、でも先輩が居てこそですからね？

37 頬杖ほおづえついてますけど

38
39 愛想笑いする莉良

40
41 ぐくぐく

42
43 話題を変えようと、先輩に進められた曲を聴いたことを思い出す

44
45 あっ、そういえば聴きましたよ

46 先輩の、これを聴いておけ！パンク・エモーショナルロック編！

47
48

49
50 先輩の選曲、神でしたと言わんばかりに
51
52 いやあー、めっちゃ揺さぶられました！
53
54 乳がか？と茶化す先輩
55
56 乳^{ちち}じゃなくて魂がですよ！
57
58 得意げな顔をしながらどの曲が好き？と尋ねる先輩
59 表情をみて胸を撫でおろし、名曲揃いだったので思案する
60
61 んー、むむむむ…いや、ほんとに全部良かったんですよ
62 ゴイステ…エルレ…^{グリーン デイ ザ ストウージズ レディオ ヘッド}green day…The Stooges…radio head
63
64 一瞬疑問が浮かんで
65
66 ん？なんでレディへ入ってんだ？
67
68 莉良、Going Steady／駆け抜けて性春の詩を思い出し
69 慌てて我に返って、少し救われたような気持ちになって
70 あっああ、
71 あの歌詞好きでした

72 星降る青い夜さってとこ
73 ちょうど私、就活の帰りで遅くなって真っ暗で
74 なんか、真っ黒のスーツとこのまま私も飾りになるのかなって…
75
76 なんだそれ、と先輩は首を傾げる
77 好き勝手に生きてそうな先輩にはわからんでしょうねと皮肉っぽく
78
79 んー、青いスーツを脱げない先輩には縁がないかもですね
80
81 話題を変えたくて、あとは？と尋ねてくる先輩
82
83 ん？あとですか？
84
85 ちょっとにやにやししながら
86
87 ふっふー♡ザ・50回転ズの money money…
88
89 結局金かよと合いの手を入れる先輩
90 莉良は東京事変のキラチューンの歌詞を引用して、にやっと
91
92 んー、贅沢するには財布だけじゃ足りませんし、
93 それに、貧しさは敵ですから
94
95

96	先輩は気だるそうに、パンクの何たるかを語り
97	莉良は意味がわかるような、解らないといった風に
98	
99	はい？
100	パンクは金じゃ買えねえ？
101	生き方なんだ？
102	
103	先輩の姿を見て、こうはなりたくないなあと思いながら
104	
105	私に足りないものは…
106	人生経験と…
107	あと何だろう…